

市町村のがん検診事業の状況について

胃がん検診

※令和元年度の胃内視鏡検査実施市町村は3市町村にとどまっており、十分なデータが得られていないため、今回は、胃部エックス線検査によるがん検診についてのみ記載している。

青森県がん・生活習慣病対策課

令和2年10月27日

胃がん検診

1. 指針への対応状況

◆がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針

死亡率の減少効果について科学的根拠のあるがん検診が、市町村の事業として行われるよう国が示した指針。

がん検診の種類	がん検診の内容		
	検査方法	対象者	受診間隔
胃がん検診	問診、胃部エックス線検査 又は 問診、胃部内視鏡検査	50歳以上の男女 ※当分の間、胃部エックス線検査は40歳以上でも差し支えない	2年に1回 ※当分の間、胃部エックス線検査は年1回でも差し支えない

胃がん検診（集団検診） 38市町村で実施 → 指針順守は34市町村（昨年度：36/40）

市町村名	令和2年度 指針への対応状況					
	検査方法	38	対象者	34	検診間隔	38
青森市	問診、胃部エックス線検査	○	50歳以上の男女	○	年1回	○
弘前市	問診、胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
八戸市	問診、胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
黒石市	問診、胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
五所川原市	問診、胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
十和田市	問診、胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
三沢市	問診、胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
むつ市	問診、胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
つがる市	問診、胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
平川市	問診、胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
平内町	問診、胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
今別町	問診、胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
蓬田村	問診、胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
外ヶ浜町	問診、胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
鯉ヶ沢町	問診、胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
深浦町	新型コロナウイルス感染症対策のため未実施		同左	同左		
西目屋村	新型コロナウイルス感染症対策のため未実施		同左	同左		
藤崎町	問診、胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
大鰐町	問診、胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
田舎館村	問診、胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
板柳町	問診、胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
鶴田町	問診、胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
中泊町	問診、胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
野辺地町	問診、胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
七戸町	問診、胃部エックス線検査	○	50歳以上の男女	○	新型コロナウイルス感染症対策のため前年度未受診者に限定	○
六戸町	問診、胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
横浜町	問診、胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
東北町	問診、胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
六ヶ所村	問診、胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
おいらせ町	問診、胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
大間町	問診、胃部エックス線検査	○	30歳以上の男女	×	年1回	○
東通村	問診、胃部エックス線検査	○	20歳以上の男女	×	年1回	○
風間浦村	問診、胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
佐井村	問診、胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
三戸町	問診、胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
五戸町	問診、胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
田子町	問診、胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
南部町	問診、胃部エックス線検査	○	30歳以上の男女	×	年1回	○
階上町	問診、胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
新郷村	問診、胃部エックス線検査	○	20歳以上の男女	×	年1回	○

胃がん検診（個別検診） 22市町村で実施 → 指針順守は18市町村（昨年度：17/21）

市町村名	令和2年度 指針への対応状況					
	検査方法	22	対象者	18	検診間隔	22
青森市	問診、胃部エックス線検査	○	50歳以上の男女	○	年1回	○
弘前市	問診、胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
八戸市	問診、胃部エックス線検査	○	65歳以上及び40歳以上の心身障がい者	(○)	年1回	○
黒石市	—		—		—	
五所川原市	問診、胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
十和田市	問診、胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
三沢市	問診、胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
むつ市	問診、胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
つがる市	問診、胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
平川市	問診、胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
平内町	—		—		—	
今別町	—		—		—	
蓬田村	—		—		—	
外ヶ浜町	—		—		—	
鯉ヶ沢町	—		—		—	
深浦町	—		—		—	
西目屋村	問診、胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
藤崎町	問診、胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
大鰐町	—		—		—	
田舎館村	—		—		—	
板柳町	—		—		—	
鶴田町	—		—		—	
中泊町	—		—		—	
野辺地町	問診、胃部エックス線検査 ※30歳代は問診・ABC検査	(○)	30歳以上の男女	×	年1回	○
七戸町	—		—		—	
六戸町	問診、胃部エックス線検査	○	30歳以上の国保加入者	×	年1回	○
横浜町	問診、胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
東北町	—		—		—	
六ヶ所村	問診、胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
おいらせ町	問診、胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
大間町	—		—		—	
東通村	問診、胃部エックス線検査	○	20歳以上の男女	×	年1回	○
風間浦村	—		—		—	
佐井村	—		—		—	
三戸町	問診、胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
五戸町	問診、胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
田子町	問診、胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
南部町	問診、胃部エックス線検査	○	30歳以上の男女	×	年1回	○
階上町	問診、胃部エックス線検査	○	65歳以上及び40歳以上65歳未満の心身障がい者	(○)	年1回	○
新郷村	—		—		—	

[令和2年度がん検診に関する調査（がん・生活習慣病対策課調べ）] ※指針を遵守=○、事業全体としては指針を遵守=(○)、遵守していない=×

胃がん検診

2. 市町村チェックリスト実施率 集団検診機関チェックリスト実施率

◆チェックリスト実施率 = 技術・体制指標

がん検診に関与する機関（市町村、検診機関、県）が、最低限整備すべき技術・体制について「事業評価のためのチェックリスト」に基づき点検し、その結果を実施率として数値化した指標。

< 胃がん検診 > 市町村チェックリスト実施率(令和元年度) 1

(1) 県全体の市町村チェックリスト実施率の状況

集団検診	胃がん検診(X線)					
	H27			R1		
	順位	都道府県名		順位	都道府県名	
		CL実施率 (%)			CL実施率 (%)	
-	全国 79.4		-	全国 80.7		
1	香川県 98.5		1	福井県 98.2		
	.			.		
38	青森県 69.7		16	青森県 88.1		
	.			.		
47	沖縄県 55.1		47	沖縄県 54.8		

個別検診	胃がん検診(X線)					
	H28			R1		
	順位	都道府県名		順位	都道府県名	
		CL実施率 (%)			CL実施率 (%)	
-	全国 60.6		-	全国 68.8		
1	福井県 94.3		1	福井県 98.2		
	.			.		
30	青森県 55.8		29	青森県 67.6		
	.			.		
47	秋田県 29.8		47	沖縄県 45.3		

地域別のR1チェックリスト実施率 (%)

青森	津軽	八戸	西北五	上十三	下北
84.6	93.8	76.4	94.6	87.7	94.2

地域別のR1チェックリスト実施率 (%)

青森	津軽	八戸	西北五	上十三	下北
57.7	63.5	66.2	62.5	68.1	88.5

＜胃がん検診＞ 市町村チェックリスト実施率（令和元年度） 2

（2）特に市町村の実施率向上が必要な項目（助言・指導項目）の状況

No	チェックリスト項目	実施状況	
		区分	R1
1	対象者全員に対して個別の受診勧奨を行う。	集団	33 / 40
		個別	16 / 21
2	未受診者に対して再勧奨を行う。	集団	11 / 40
		個別	7 / 21
3	個人別の受診台帳を作成する。 （受診歴等の管理）	集団	37 / 40
		個別	18 / 21
4	受診勧奨時にがん検診の意義や精密検査の必要性等をリーフレット等で説明する。	集団	39 / 40
		個別	15 / 21
5	精密検査の結果を漏れなく把握する。	集団	40 / 40
		個別	20 / 21
6	市町村・検診機関・精検機関で精検結果を共有する。	集団	38 / 40
		個別	9 / 21

No	チェックリスト項目	実施状況	
		区分	R1
7	精密検査未受診者への個別の受診勧奨を行う。	集団	40 / 40
		個別	18 / 21
8	基準に沿った仕様書（精度管理項目を明記）を作成し、委託検診機関を選定する。	集団	37 / 40
		個別	13 / 21
9	検診機関へ精度管理評価をフィードバックする。	集団	33 / 40
		個別	3 / 21
10	プロセス指標を全体、性別・年齢5歳階級別、検診機関別、検診受診歴別に集計し、把握する。	集団	23 / 40
		個別	6 / 19
11	要精検者全員に対し、受診可能な精密検査機関名の一覧を提示する。	集団	37 / 40
		個別	13 / 21

（※No 10は全てのプロセス指標を把握している市町村の数）

＜胃がん検診(X線)＞ 集団検診機関チェックリスト実施率(令和元年度) 1

項目	設問	実施機関数 ／調査対象 機関数	項目	設問	実施機関数 ／調査対象 機関数
① 受診者への説明	(1) 要精密検査となった場合には、必ず精密検査を受ける必要があることを明確に説明しましたか	6 / 6	② 問診、 胃部エックス線撮影の 精度管理	(1) 検診項目は、問診に加え、胃部エックス線検査としましたか	6 / 6
	(2) 精密検査の方法について説明しましたか	6 / 6		(2) 問診は現在の症状、既往歴、家族歴、過去の検診の受診状況等を聴取しましたか	6 / 6
	(3) 精密検査結果は市区町村等へ報告すること、また他の医療機関に精密検査を依頼した場合は、検診機関がその結果を共有することを説明しましたか	6 / 6		(3) 問診記録は少なくとも5年間は保存していますか	6 / 6
	(4) 検診の有効性に加えて、がん検診で必ずがんを見つけられるわけではないこと(偽陰性)、がんがなくてもがん検診の結果が「陽性」となる場合もあること(偽陽性)など、がん検診の欠点について説明しましたか	6 / 6		(4) 胃部エックス線撮影の機器の種類を仕様書で明らかにし、撮影機械の基準は日本消化器がん検診学会の定める仕様基準を満たしていましたか	6 / 6
	(5) 検診受診の継続が重要であること、また、症状がある場合は医療機関の受診が重要であることを説明しましたか	6 / 6		(5) 胃部エックス線撮影の枚数は最低8枚とし、仕様書にも撮影枚数を明記していましたか	6 / 6
	(6) 胃がんがわが国のがん死亡の上位に位置することを説明しましたか	5 / 6		(6) 胃部エックス線撮影の体位及び方法は日本消化器がん検診学会の方式によるものとし、仕様書に体位及び方法を明記していましたか	6 / 6
				(7) 胃部エックス線撮影において、造影剤の使用に当たっては、その濃度を適切に(180～220W/V%の高濃度バリウム、120～150mlとする)保つとともに、副作用等の事故に注意していましたか	6 / 6
				(8) 胃部エックス線撮影に携わった技師は、日本消化器がん検診学会が認定する胃がん検診専門技師の資格を取得していましたか	4 / 6
				(9) 自治体や医師会等から求められた場合、胃部エックス線撮影に携わった技師の全数と日本消化器がん検診学会認定技師数を報告しましたか	3 / 4 ※求められた機関のみ回答

＜胃がん検診(X線)＞ 集団検診機関チェックリスト実施率(令和元年度) 2

項目	設問	実施機関数 ／調査対象 機関数	項目	設問	実施機関数 ／調査対象 機関数
③ 胃 部 エ ク ス 線 読 影 の 精 度 管 理	読影をどこで行っているか	自施設 5 外 注 1	④ シ ス テ ム と し て の 精 度 管 理	(1) 受診者への結果の通知・説明、またはそのための市区町村への結果報告は、遅くとも検診受診後4週間以内になされましたか	6 / 6
	(1) 自治体や医師会等から求められた場合、読影医全数と日本消化器がん検診学会認定医数もしくは総合認定医数を報告しましたか	3 / 3 ※求められた機関のみ回答		(2) がん検診の結果及びそれに関わる情報について、市区町村や医師会等から求められた項目を全て報告しましたか	6 / 6
	(2) 読影は二重読影とし、原則として判定医の一人は日本消化器がん検診学会認定医もしくは総合認定医でしたか	3 / 6		(3) 精密検査方法及び、精密検査(治療)結果(内視鏡診断や生検結果、内視鏡治療または外科手術所見と病理組織検査結果など)について、市区町村や医師会から求められた項目の積極的な把握に努めましたか	5 / 6
	(3) 必要に応じて過去に撮影したエックス線写真と比較読影していましたか	6 / 6		(4) 撮影や読影向上のための検討会や委員会を設置していますか もしくは、市区町村や医師会等が設置した検討会や委員会に参加しましたか	4 / 6
	(4) 胃部エックス線画像は少なくとも5年間は保存していますか	6 / 6		(5) 自施設の検診結果について、要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度等のプロセス指標値を把握しましたか	5 / 6
	(5) 胃部エックス線による検診結果は少なくとも5年間は保存していますか	6 / 6		(6) プロセス指標値やチェックリストの遵守状況に基づいて、自施設の精度管理状況を評価し、改善に向けた検討を行っていますか あるいは、都道府県の生活習慣病検診等管理指導協議会、市区町村、医師会等から指導・助言等があった場合は、それを参考にして改善に努めましたか	4 / 6

胃がん検診

3. プロセス指標

◆プロセス指標

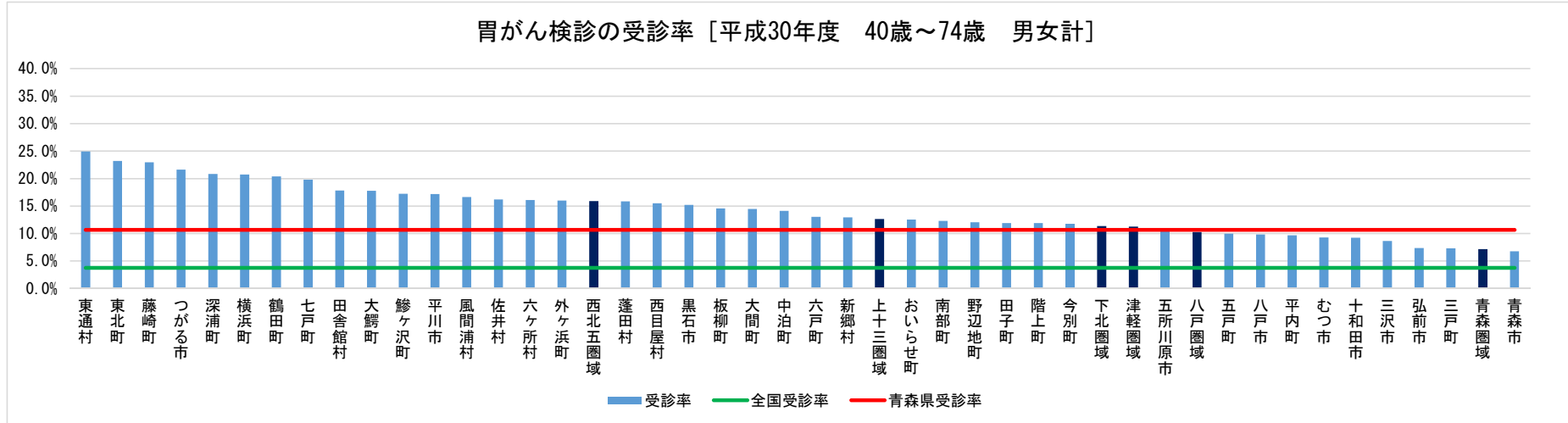
市町村のがん検診事業の各プロセス（受診者の募集、スクリーニング、精密検査への誘導、精密検査、事業評価）が適切に行われているかを評価するための指標。

平成30年度 胃がん検診（胃部X線）の受診率（総数分）

1. 胃がん検診（胃部X線）の受診率

受診率は、検診を受けるべき対象者が、実際に検診を受けたかを測る指標で、高いことが望ましい。

対象者数（分母）は対象年齢の全住民で、受診者数（分子）は市町村事業の受診者数であり、職域や人間ドックで受診している者は含まれていない。



<胃がん検診（胃部X線）の受診率 [平成30年度 40歳～74歳 男女計]>

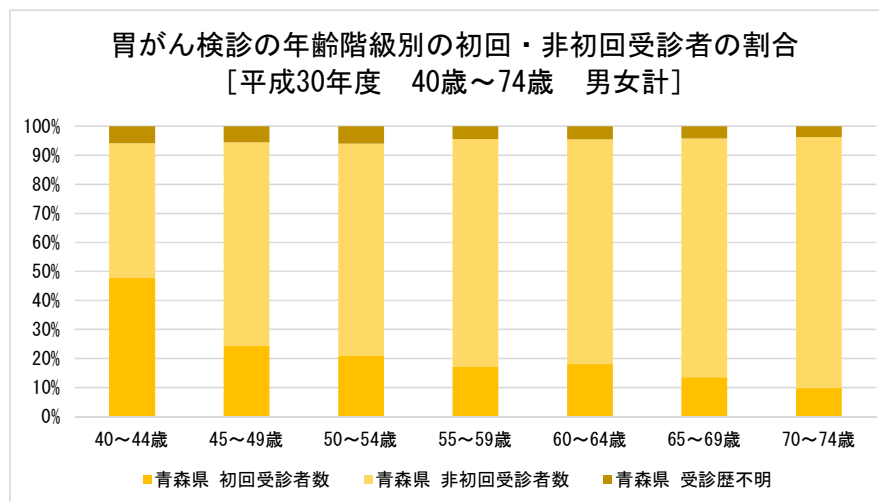
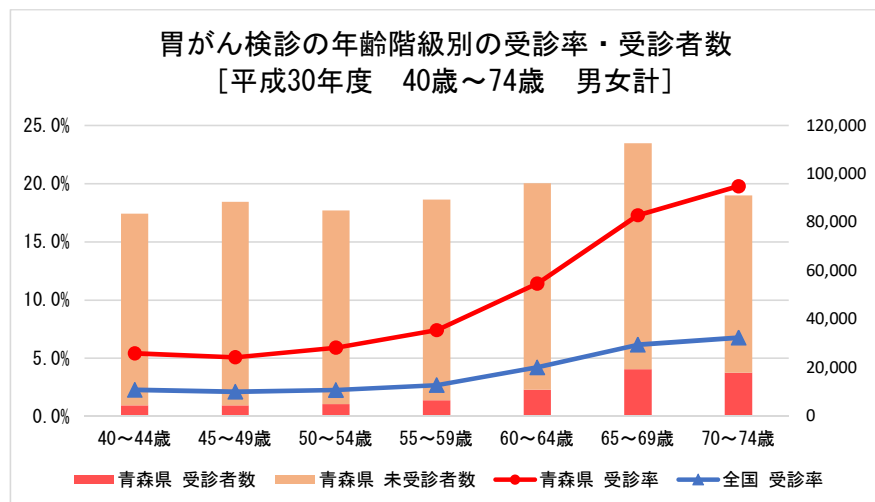
区分	全国	青森県	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	青森市	弘前市	八戸市	黒石市	五所川原市	十和田市	三沢市	むつ市	つがる市	平川市
受診率	3.8%	10.7%	7.2%	11.3%	10.3%	15.9%	12.7%	11.4%	6.8%	7.4%	9.8%	15.2%	10.9%	9.2%	8.6%	9.3%	21.6%	17.2%
順位	—	—	—	—	—	—	—	—	40位	38位	33位	19位	31位	36位	37位	35位	4位	12位
受診者数	2,258,188	69,140	11,244	15,838	16,597	10,460	10,803	4,198	9,774	6,249	11,282	2,559	3,045	2,902	1,567	2,698	3,523	2,655
対象者数	60,038,975	646,635	156,341	140,727	161,683	65,669	85,300	36,915	144,463	84,644	114,777	16,841	27,830	31,399	18,123	29,037	16,284	15,457
区分	平内町	今別町	蓬田村	外ヶ浜町	鱒ヶ沢町	深浦町	西目屋村	藤崎町	大鰐町	田舎館村	板柳町	鶴田町	中泊町	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町
受診率	9.7%	11.7%	15.9%	16.0%	17.2%	20.8%	15.5%	23.0%	17.8%	17.8%	14.6%	20.4%	14.1%	12.1%	19.8%	13.0%	20.8%	23.2%
順位	34位	30位	17位	16位	11位	5位	18位	3位	10位	9位	20位	7位	22位	27位	8位	23位	6位	2位
受診者数	567	159	231	513	879	890	98	1,691	884	688	1,014	1,305	818	824	1,557	692	462	2,025
対象者数	5,861	1,357	1,455	3,205	5,097	4,271	632	7,368	4,973	3,862	6,950	6,396	5,791	6,838	7,871	5,314	2,226	8,728
区分	六ヶ所村	おいらせ町	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村						
受診率	16.1%	12.6%	14.5%	24.9%	16.7%	16.2%	7.3%	10.0%	11.9%	12.3%	11.9%	12.9%						
順位	15位	25位	21位	1位	13位	14位	39位	32位	28位	26位	29位	24位						
受診者数	774	1,545	393	759	174	174	377	888	333	1,149	865	158						
対象者数	4,801	12,301	2,713	3,046	1,045	1,074	5,151	8,871	2,787	9,328	7,247	1,221						

[受診率の計算方法について]
 受診者数÷対象者数=受診率
 ※プロセス指標に合わせ75歳未満の受診率を計算しているため他の統計の受診率と異なる。

(出典：H30年度地域保健・健康増進事業報告)

2. 胃がん検診（胃部X線）の受診者の状況 [自治体名：青森県]

検診受診者の年齢階級別の受診者数等により受診者の特性（有病率の高い年齢層に偏っていないか、初回受診者は多いか等）を確認する。



<胃がん検診（胃部X線）の年齢階級別の受診者数・受診率 [平成30年度 男女計]>

区分		40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	40～69歳	40～74歳
青森県	対象者数	83,617	88,576	84,989	89,456	96,162	112,667	91,168			646,635	555,467	646,635
青森県	受診者数	4,530	4,496	5,012	6,619	10,983	19,464	18,036	12,766	8,217	90,123	51,104	69,140
青森県	初回受診者数	2,161	1,101	1,052	1,131	1,983	2,636	1,764	1,099	747	13,674	10,064	11,828
青森県	非初回受診者数	2,104	3,142	3,660	5,189	8,499	16,003	15,581	11,199	7,130	72,507	38,597	54,178
青森県	受診歴不明	265	253	300	299	501	825	691	468	340	3,942	2,443	3,134
青森県	受診率	5.4%	5.1%	5.9%	7.4%	11.4%	17.3%	19.8%				9.2%	10.7%
全国	対象者数	9,240,357	9,703,623	8,339,036	7,610,566	7,612,194	9,319,927	8,213,272			60,038,975	51,825,703	60,038,975
全国	受診者数	211,147	204,970	187,989	204,031	320,353	574,588	555,110	363,567	210,014	2,831,769	1,703,078	2,258,188
全国	初回受診者数	100,266	56,294	48,223	44,730	72,852	99,842	70,623	39,798	21,211	553,839	422,207	492,830
全国	非初回受診者数	98,718	137,196	130,264	149,656	234,364	451,844	462,599	309,816	180,438	2,154,895	1,202,042	1,664,641
全国	受診歴不明	12,163	11,480	9,502	9,645	13,137	22,902	21,888	13,953	8,365	123,035	78,829	100,717
全国	受診率	2.3%	2.1%	2.3%	2.7%	4.2%	6.2%	6.8%				3.3%	3.8%

※受診者数はH30年度の受診者数である。

※初回受診者数と非初回受診者数の合計が受診者数と一致しない、または初回受診者数と非初回受診者数を計上していない市町村があるため、そのような場合は受診歴不明として計上している。

※対象者数から受診者数を除いた人数を未受診者数と定義しているが、実際は職場や人間ドック等でがん検診を受診している者が含まれている。

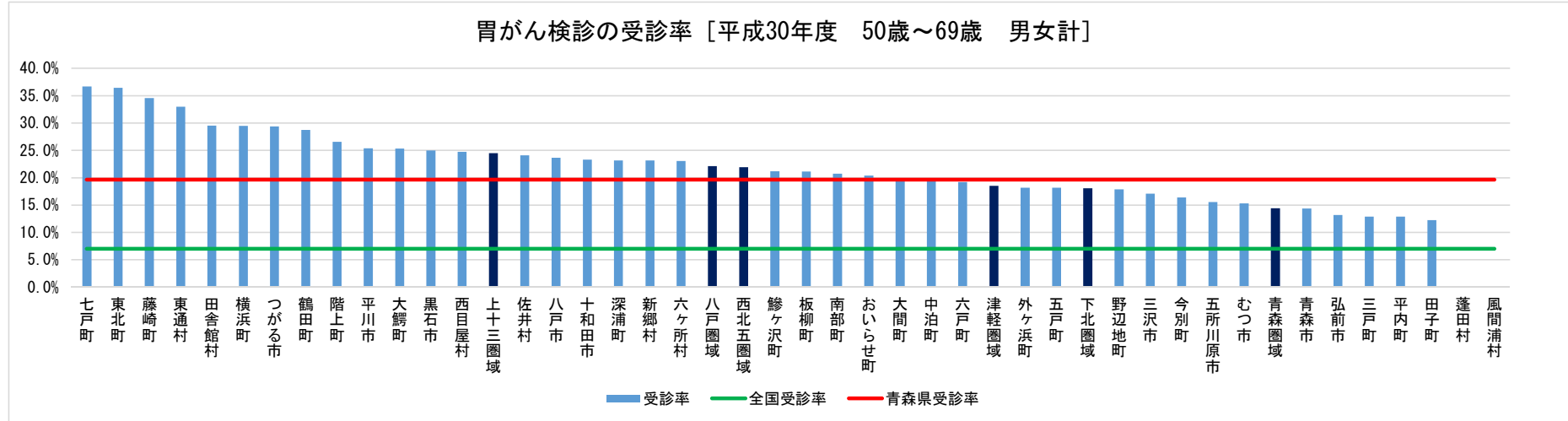
（出典：H30年度地域保健・健康増進事業報告）

平成30年度 胃がん検診（胃部X線）の受診率（国保分）

1. 胃がん検診（胃部X線）の受診率

受診率は、検診を受けるべき対象者が、実際に検診を受けたかを測る指標で、高いことが望ましい。

対象者数（分母）及び受診者数（分子）は対象年齢の全住民であり、職域や人間ドックで受診している者は含まれていない。



<胃がん検診（胃部X線）の受診率 [平成30年度 50歳～69歳 男女計] >

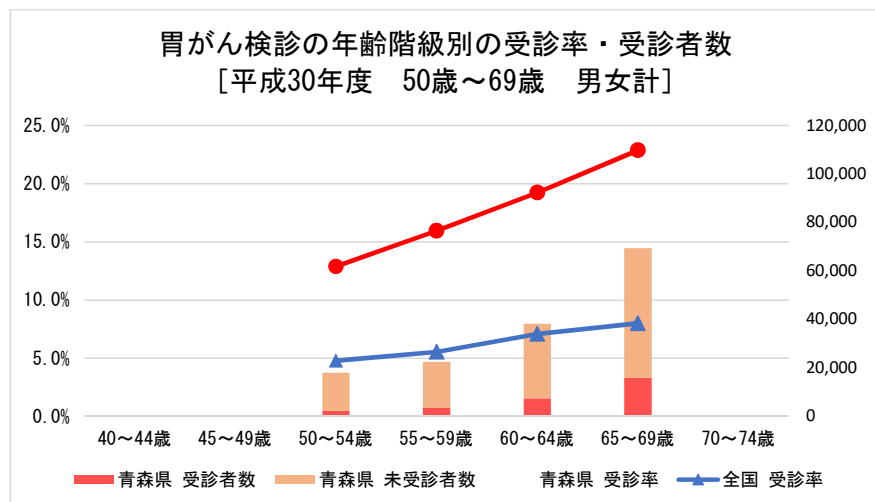
区分	全国	青森県	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	青森市	弘前市	八戸市	黒石市	五所川原市	十和田市	三沢市	むつ市	つがる市	平川市
受診率	7.0%	19.7%	14.4%	18.5%	22.1%	21.9%	24.5%	18.1%	14.4%	13.2%	23.7%	25.0%	15.6%	23.3%	17.1%	15.3%	29.4%	25.4%
順位	—	—	—	—	—	—	—	—	34位	35位	15位	12位	32位	16位	30位	33位	7位	10位
受診者数	764,003	29,138	4,468	6,799	7,162	4,364	4,757	1,588	3,978	2,820	4,808	1,049	1,190	1,616	604	993	1,494	1,050
対象者数	10,893,046	148,105	30,992	36,660	32,366	19,908	19,408	8,771	27,711	21,407	20,307	4,196	7,629	6,927	3,531	6,489	5,088	4,134
区分	平内町	今別町	蓬田村	外ヶ浜町	鱒ヶ沢町	深浦町	西目屋村	藤崎町	大鰐町	田舎館村	板柳町	鶴田町	中泊町	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町
受診率	12.9%	16.4%	0.0%	18.2%	21.2%	23.2%	24.7%	34.6%	25.4%	29.5%	21.1%	28.7%	19.4%	17.9%	36.7%	19.2%	29.5%	36.5%
順位	37位	31位	—	27位	20位	17位	13位	3位	11位	5位	21位	8位	25位	29位	1位	26位	6位	2位
受診者数	245	67	0	178	373	354	46	683	365	294	492	602	351	309	708	258	190	843
対象者数	1,896	408	0	977	1,762	1,527	186	1,975	1,439	996	2,327	2,096	1,806	1,729	1,930	1,343	644	2,312
区分	六ヶ所村	おいらせ町	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村						
受診率	23.1%	20.4%	19.6%	33.0%	0.0%	24.1%	12.9%	18.2%	12.2%	20.7%	26.5%	23.2%						
順位	19位	23位	24位	4位	—	14位	36位	28位	38位	22位	9位	18位						
受診者数	229	564	181	323	0	91	188	433	103	526	446	94						
対象者数	992	2,762	925	979	0	378	1,454	2,379	843	2,535	1,680	406						

※受診率が0%の市町村は、対象者及び受診者が0であるか、対象者が未把握のものである。

(出典：H30年度地域保健・健康増進事業報告)

2. 胃がん検診（胃部X線）の受診者の状況 [自治体名：青森県]

検診受診者の年齢階級別の受診者数等により受診者の特性（有病率の高い年齢層に偏っていないか等）を確認する。



<胃がん検診（胃部X線）の年齢階級別の受診者数・受診率 [平成30年度 男女計]>

区分		40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	50～69歳
青森県	対象者数			17,998	22,485	38,172	69,450				148,105	148,105
青森県	受診者数			2,320	3,587	7,342	15,889				29,138	29,138
青森県	受診率			12.9%	16.0%	19.2%	22.9%					19.7%
全国	対象者数			1,446,779	1,535,671	2,555,270	5,355,326				10,893,046	10,893,046
全国	受診者数			69,273	85,184	180,946	428,600				764,003	764,003
全国	受診率			4.8%	5.5%	7.1%	8.0%					7.0%

※受診者数はH30年度の受診者数である。

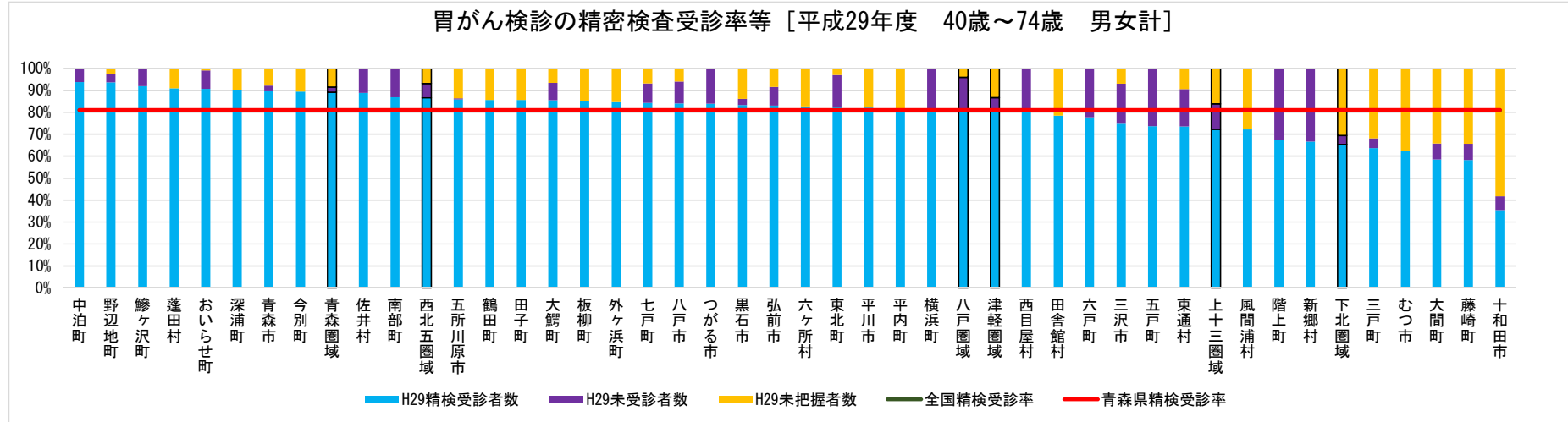
(出典：H30年度地域保健・健康増進事業報告)

平成29年度 胃がん検診（胃部X線検査）のプロセス指標

1. 胃がん検診の精密検査受診率・未受診者率・未把握率

精密検査受診率と未受診率は、要精検者が実際に精密検査を受診したかを測る指標で、受診率が高いことが望ましい。

精検未把握率は、受診の有無や精検結果が適切に把握されたかを測る指標で、ゼロにすることが必要である。



<胃がん検診の精密検査受診率等 [平成29年度 40歳～74歳 男女計]>

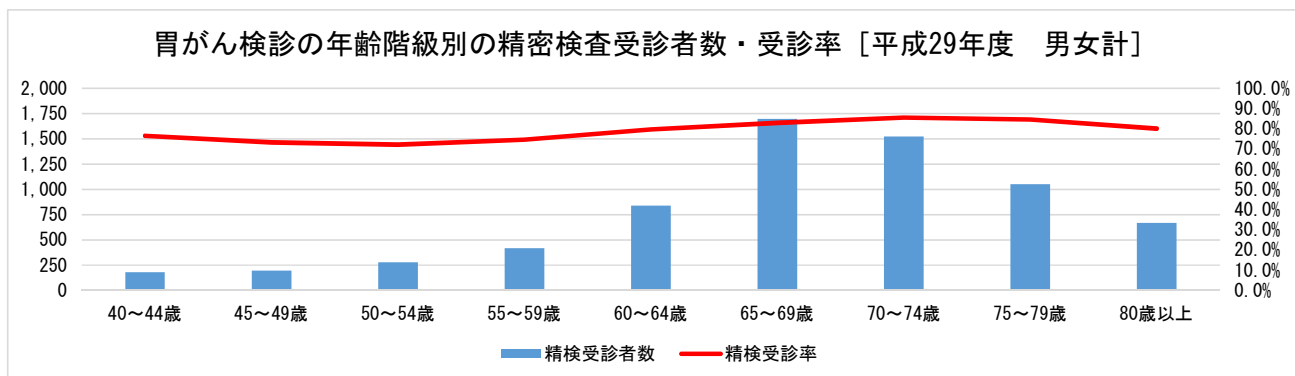
区分	全国	青森県	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	青森市	弘前市	八戸市	黒石市	五所川原市	十和田市	三沢市	むつ市	つがる市	平川市
精検受診率	81.0%	81.1%	89.2%	80.5%	81.2%	86.7%	72.3%	65.4%	89.6%	83.1%	84.1%	83.3%	85.8%	35.4%	74.8%	62.2%	83.9%	82.3%
順位	—	—	—	—	—	—	—	—	7位	21位	18位	20位	11位	40位	30位	37位	19位	24位
精検受診者数	136,847	5,145	952	1,557	842	903	664	227	866	903	422	145	273	67	119	135	282	172
要精検者数	168,975	6,345	1,067	1,934	1,037	1,042	918	347	966	1,087	502	174	318	189	159	217	336	209
区分	平内町	今別町	蓬田村	外ヶ浜町	鱒ヶ沢町	深浦町	西目屋村	藤崎町	大鰐町	田舎館村	板柳町	鶴田町	中泊町	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町
精検受診率	81.3%	89.5%	90.9%	84.6%	92.0%	90.1%	80.0%	58.3%	85.5%	78.4%	85.4%	85.7%	93.8%	93.7%	84.4%	77.8%	81.3%	82.5%
順位	25位	8位	4位	16位	3位	6位	27位	39位	14位	28位	15位	12位	1位	2位	17位	29位	25位	23位
精検受診者数	26	17	10	33	103	64	8	119	65	40	105	120	61	74	124	56	39	137
要精検者数	32	19	11	39	112	71	10	204	76	51	123	140	65	79	147	72	48	166
区分	六ヶ所村	おいらせ町	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村						
精検受診率	82.8%	90.8%	58.5%	73.6%	72.2%	88.9%	63.6%	73.8%	85.7%	87.0%	67.4%	66.7%						
順位	22位	5位	38位	32位	33位	9位	36位	31位	12位	10位	34位	35位						
精検受診者数	48	108	24	39	13	16	14	163	24	60	29	22						
要精検者数	58	119	41	53	18	18	22	221	28	69	43	33						

[精検受診率の計算方法について]
 H29年度の精検受診者数÷H29年度の要精密検査者数=精検受診率
 H29年度の未受診者数÷H29年度の要精密検査者数=未受診率
 H29年度の未把握者数÷H29年度の要精密検査者数=未把握率

(出典：H30年度地域保健・健康増進事業報告)

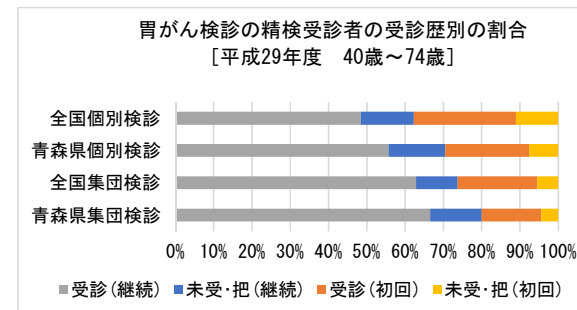
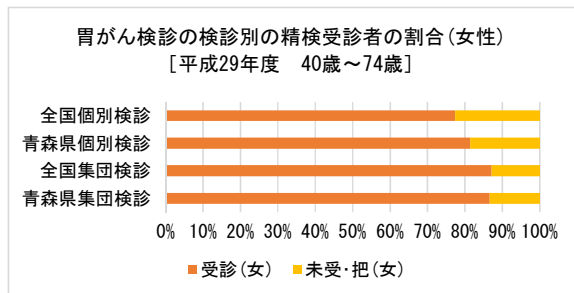
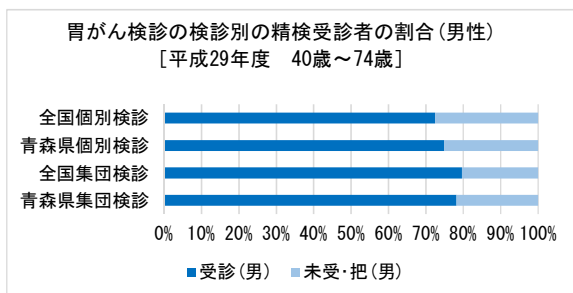
2. 胃がん検診の精密検査受診者の内訳

精密検査受診者の年齢階級別の受診者数等により受診者の特性（有病率の高い性別・年齢層に偏っていないか、初回受診者は多いか等）を確認する。



<胃がん検診の年齢階級別の精密検査受診者数・受診率 [平成29年度 男女計]>

区分	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	40～74歳
青森県 精検受診者数	183	198	278	420	842	1,700	1,524	1,054	668	6,867	5,145
青森県 要精検者数	239	270	385	563	1,056	2,051	1,781	1,246	834	8,425	6,345
青森県 精検受診率	76.6%	73.3%	72.2%	74.6%	79.7%	82.9%	85.6%	84.6%	80.1%	81.5%	81.1%



<胃がん検診の検診別・男女別の精検受診者数・割合 [平成29年度 40歳～74歳]>

区分	受診(男)	受診(女)	受診(合計)	未受・把(男)	未受・把(女)	未(合計)	受診(男)割合	未受・把(男)割合	受診(女)割合	未受・把(女)割合
青森県集団検診	2,047	1,858	3,905	571	286	857	78.2%	21.8%	86.7%	13.3%
全国集団検診	52,433	50,830	103,263	13,419	7,479	20,898	79.6%	20.4%	87.2%	12.8%
青森県個別検診	564	676	1,240	188	155	343	75.0%	25.0%	81.3%	18.7%
全国個別検診	16,257	17,327	33,584	6,181	5,049	11,230	72.5%	27.5%	77.4%	22.6%

<胃がん検診の受診歴別の精検受診者数・割合 [平成29年度 40歳～74歳]>

区分	受診(継続)	未受・把(継続)	受診(初回)	未受・把(初回)
青森県集団検診	3,035	611	709	203
全国集団検診	73,313	12,756	24,283	6,352
青森県個別検診	834	222	328	114
全国個別検診	19,749	5,675	10,892	4,526

※初回・非初回別で計上できていない市区町村があるため
他の集計の精検受診者数と異なる場合がある。

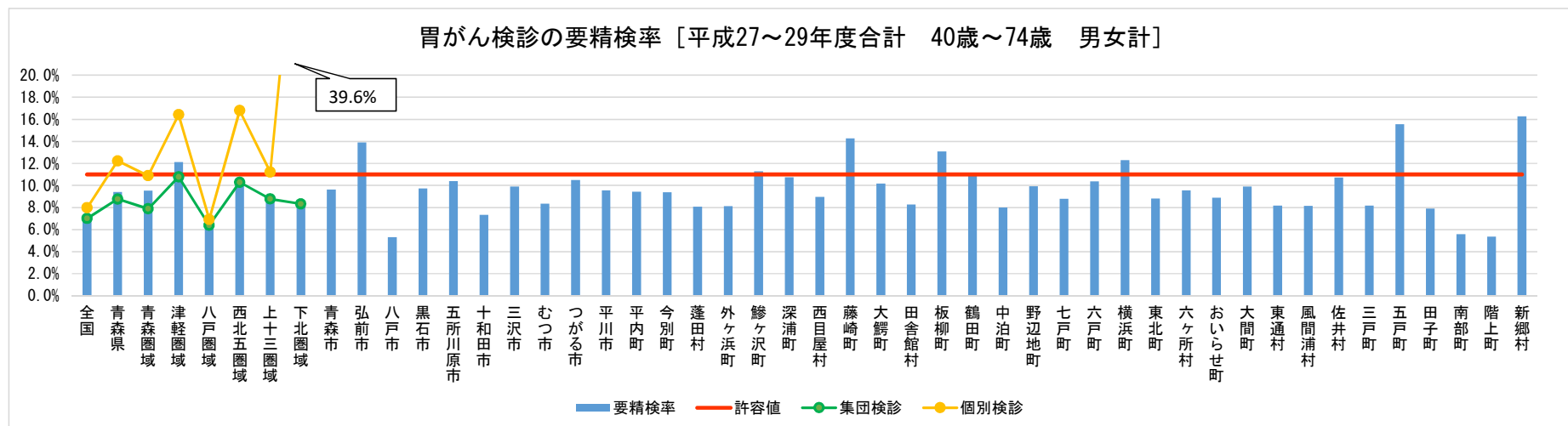
(出典：H30年度地域保健・健康増進事業報告)

3. 胃がん検診の要精検率（参考値）

要精検率は、検診において、精密検査の対象者が適切に絞られているかを測る指標。対象集団に応じて適切な範囲があり、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となる。

受診者数が少ない場合はバラツキが大きくなるため、評価を行う場合には注意が必要である。

【胃がん検診の要精検率の許容値=11.0%以下】



<胃がん検診の要精検率 [平成27~29年度合計 40歳~74歳 男女計]>

区分	全国	青森県	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	青森市	弘前市	八戸市	黒石市	五所川原市	十和田市	三沢市	むつ市	つがる市	平川市
要精検率	7.3%	9.4%	9.5%	12.1%	6.4%	10.4%	8.9%	8.6%	9.6%	13.9%	5.3%	9.7%	10.4%	7.3%	9.9%	8.4%	10.5%	9.6%
要精検者数	590,406	21,405	3,546	6,483	3,479	3,626	3,164	1,107	3,177	3,229	1,954	802	1,068	689	529	685	1,227	781
受診者数	8,132,382	227,709	37,187	53,410	53,945	34,812	35,435	12,920	32,964	23,240	36,819	8,252	10,287	9,410	5,347	8,203	11,679	8,162

区分	平内町	今別町	蓬田村	外ヶ浜町	鱒ヶ沢町	深浦町	西目屋村	藤崎町	大鰐町	田舎館村	板柳町	鶴田町	中泊町	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町
要精検率	9.4%	9.4%	8.1%	8.1%	11.3%	10.7%	9.0%	14.3%	10.2%	8.3%	13.1%	11.0%	8.0%	9.9%	8.8%	10.4%	12.3%	8.8%
要精検者数	142	47	49	131	312	319	33	753	262	176	447	481	219	280	471	240	143	590
受診者数	1,505	501	606	1,611	2,765	2,969	368	5,272	2,572	2,128	3,416	4,380	2,732	2,819	5,357	2,315	1,164	6,700

区分	六ヶ所村	おいらせ町	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村
要精検率	9.6%	8.9%	9.9%	8.2%	8.2%	10.7%	8.2%	15.6%	7.9%	5.6%	5.4%	16.3%
要精検者数	222	403	120	194	41	67	95	492	91	219	145	80
受診者数	2,323	4,539	1,212	2,376	503	626	1,161	3,161	1,151	3,920	2,702	492

[要精検率の計算方法について]

各年度の要精検者数÷各年度の受診者数=要精検率

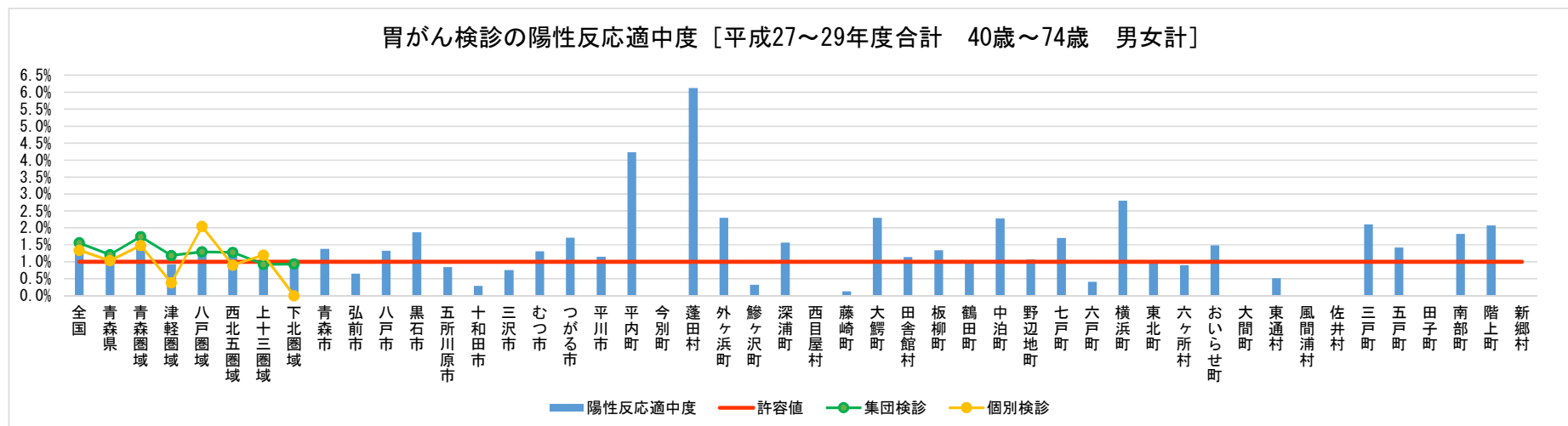
(出典：H28~H30年度地域保健・健康増進事業報告)

4. 胃がん検診の陽性反応適中度（参考値）

陽性反応適中度は、その検診において、効率よくがんが発見されたかを測る指標。基本的に高いことが望ましいが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となる。

精検受診率が低い場合や受診者数が少ない場合はバラツキが大きくなるため、評価を行う場合には注意が必要である。

【胃がん検診の陽性反応適中度の許容値=1.0%以上】



<胃がん検診の陽性反応適中度 [平成27~29年度合計 40歳~74歳 男女計] >

区分	全国	青森県	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	青森市	弘前市	八戸市	黒石市	五所川原市	十和田市	三沢市	むつ市	つがる市	平川市
陽性反応適中度	1.5%	1.2%	1.6%	0.9%	1.4%	1.3%	0.9%	0.9%	1.4%	0.7%	1.3%	1.9%	0.8%	0.3%	0.8%	1.3%	1.7%	1.2%
がんであった者	8,842	250	56	60	48	46	30	10	44	21	26	15	9	2	4	9	21	9
要精検者数	590,406	21,405	3,546	6,483	3,479	3,626	3,164	1,107	3,177	3,229	1,954	802	1,068	689	529	685	1,227	781

区分	平内町	今別町	蓬田村	外ヶ浜町	鱒ヶ沢町	深浦町	西目屋村	藤崎町	大鰐町	田舎館村	板柳町	鶴田町	中泊町	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町
陽性反応適中度	4.2%	0.0%	6.1%	2.3%	0.3%	1.6%	0.0%	0.1%	2.3%	1.1%	1.3%	1.0%	2.3%	1.1%	1.7%	0.4%	2.8%	1.0%
がんであった者	6	0	3	3	1	5	0	1	6	2	6	5	5	3	8	1	4	6
要精検者数	142	47	49	131	312	319	33	753	262	176	447	481	219	280	471	240	143	590

区分	六ヶ所村	おいらせ町	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村
陽性反応適中度	0.9%	1.5%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%	2.1%	1.4%	0.0%	1.8%	2.1%	0.0%
がんであった者	2	6	0	1	0	0	2	7	0	4	3	0
要精検者数	222	403	120	194	41	67	95	492	91	219	145	80

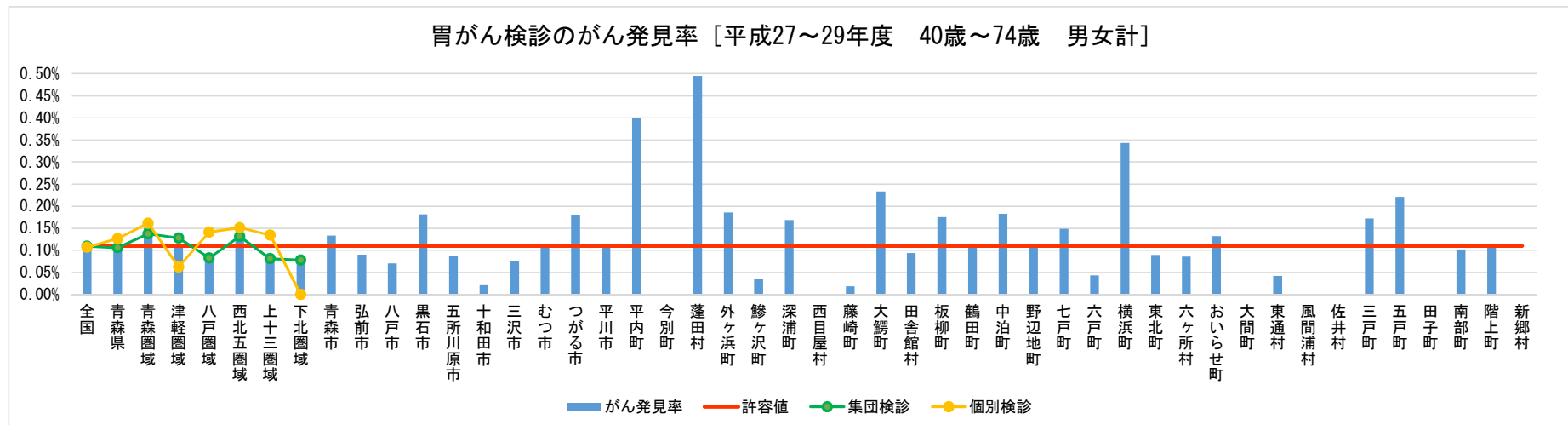
[陽性反応適中度の計算方法について]
各年度のがんであった者÷各年度の要精検者数=陽性反応適中度

5. 胃がん検診のがん発見率（参考値）

がん発見率は、その検診において、適正な頻度でがんを発見できたかを測る指標。基本的に高いことが望ましいが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となる。

精検受診率が低い場合や受診者数が少ない場合はバラツキが大きくなるため、評価を行う場合には注意が必要である。

【胃がん検診のがん発見率の許容値=0.11%以上】



<胃がん検診のがん発見率 [平成27～29年度 40歳～74歳 男女計] >

区分	全国	青森県	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	青森市	弘前市	八戸市	黒石市	五所川原市	十和田市	三沢市	むつ市	つがる市	平川市
がん発見率	0.11%	0.11%	0.15%	0.11%	0.09%	0.13%	0.08%	0.08%	0.13%	0.09%	0.07%	0.18%	0.09%	0.02%	0.07%	0.11%	0.18%	0.11%
がんであった者	8,842	250	56	60	48	46	30	10	44	21	26	15	9	2	4	9	21	9
受診者数	8,132,382	227,709	37,187	53,410	53,945	34,812	35,435	12,920	32,964	23,240	36,819	8,252	10,287	9,410	5,347	8,203	11,679	8,162

区分	平内町	今別町	蓬田村	外ヶ浜町	鱒ヶ沢町	深浦町	西目屋村	藤崎町	大鰐町	田舎館村	板柳町	鶴田町	中泊町	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町
がん発見率	0.40%	0.00%	0.50%	0.19%	0.04%	0.17%	0.00%	0.02%	0.23%	0.09%	0.18%	0.11%	0.18%	0.11%	0.15%	0.04%	0.34%	0.09%
がんであった者	6	0	3	3	1	5	0	1	6	2	6	5	5	3	8	1	4	6
受診者数	1,505	501	606	1,611	2,765	2,969	368	5,272	2,572	2,128	3,416	4,380	2,732	2,819	5,357	2,315	1,164	6,700

区分	六ヶ所村	おいらせ町	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村
がん発見率	0.09%	0.13%	0.00%	0.04%	0.00%	0.00%	0.17%	0.22%	0.00%	0.10%	0.11%	0.00%
がんであった者	2	6	0	1	0	0	2	7	0	4	3	0
受診者数	2,323	4,539	1,212	2,376	503	626	1,161	3,161	1,151	3,920	2,702	492

[がん発見率の計算方法について]

各年度のがんであった者÷各年度の受診者数=がん発見率

(出典：H28～H30年度地域保健・健康増進事業報告)